

目次

1 本レポートについて

3 キヤノンの企業理念

5 キヤノンの歩み

7 CEOメッセージ



13 価値創造のための戦略

13 価値創造プロセス

15 マテリアリティとSDGs

17 経営計画の変遷

19 事業戦略

21 プリンティング

23 メディカル

25 イメージング

27 インダストリアル

29 財務戦略

31 人材戦略

33 研究開発戦略

35 知的財産戦略

37 ブランドマネジメント

38 環境に対する取り組み

38 環境マネジメント

39 気候変動

42 資源循環

43 化学物質

44 生物多様性

45 社会に対する取り組み

45 人権の尊重

49 サプライチェーンマネジメント

51 ガバナンス

51 コーポレート・ガバナンス

59 役員一覧

61 データ集・企業情報

61 データ集

63 会社・株式情報

本レポートについて

編集方針

本統合報告書は、ステークホルダーのみなさまにキヤノンの中長期的な企業価値創造ストーリーへのご理解を深めていただけるよう、経営計画や事業、財務、人材などの各戦略とともに、ESGの取り組みをまとめ、網羅的でありながらも、より読みやすい内容になるように心がけています。

参考にしたガイドライン

国際会計基準(IFRS)財団「国際統合報告フレームワーク」
経済産業省「価値協創ガイダンス」
気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)による提言
自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)による提言
詳細なESG関連情報については、「CANON SUSTAINABILITY REPORT 2025」をご参照ください。
参考: CANON SUSTAINABILITY REPORT 2025
<https://global.canon/ja/sustainability/report/>

また、詳細な財務情報については、「有価証券報告書(第124期)」 「CANON ANNUAL REPORT 2024」をご参照ください。
参考: 有価証券報告書(第124期)
<https://global.canon/ja/ir/library/yuuhou.html>
参考: CANON ANNUAL REPORT 2024
<https://global.canon/ja/ir/library/annual.html>

報告対象組織

キヤノングループ全連結対象会社334社(国内60社、海外274社)のデータを取りまとめて報告しています。

発行時期

2025年4月
(前回: 2024年4月、次回予定: 2026年4月)

文中の表記

「キヤノン」はキヤノン株式会社およびその連結子会社すべてを含むグループ全体を、「キヤノン(株)」はキヤノン株式会社単体を表しています。「従業員」は社員のほかパート・アルバイトなども含みます。欧州・中東・アフリカ地域を含めて「欧州」としています。

開示データ/免責事項

原則として、2024年1月1日から12月31日の連結会計範囲における経済・社会・環境の各項目に関わる活動を中心に報告しています。重要な目標・指標・取り組みなどについては、補足的に2023年以前や2025年以降の情報も記載しています。対象地域や組織が限定されている情報については個別に明示しています。

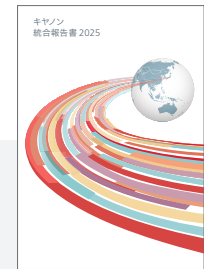
算出方法の変更や対象拠点などの拡大にともない、これまで開示した過去データの見直しを行っています。したがって、

一部過去の開示データと異なる部分があります。

本レポートには、キヤノンの過去と現在の事実だけでなく、発行日時点における計画や見通し、経営方針・経営戦略にもとづいた将来予測が含まれています。この将来予測は、記述した時点で入手できた情報にもとづいた仮定ないし判断であり、諸与件の変化によって、将来の事業活動の結果や事象が予測とは異なったものとなる可能性があります。

問い合わせ先

キヤノン株式会社
〒146-8501 東京都大田区下丸子3-30-2
TEL: 03-3758-2111(代表)



表紙について

キヤノンの4つの産業別グループがそれぞれにもつ色と、コーポレートカラーの赤の帯が、「Canon」の頭文字であるCのカーブを描きながら、外の世界へと勢いよく広がり、成長していく様子をグラフィック化しました。

共生

キヤノンの企業理念は、「共生」です。

私たちは、この理念のもと

文化、習慣、言語、民族などの違いを問わず

すべての人類が末永く共に生き、共に働き

幸せに暮らしていける社会をめざします。

しかし、経済、資源、環境など

現在、地球上には共生を阻むさまざまな課題があります。

キヤノンは、共生に根ざした企業活動を通じて

これらの課題の解消に積極的に取り組んでいきます。

真のグローバル企業には、

お客さま、地域社会に対してはもちろん

国や地域、地球や自然に対してもよい関係をつくり

社会的な責任を全うすることが求められます。

キヤノンは

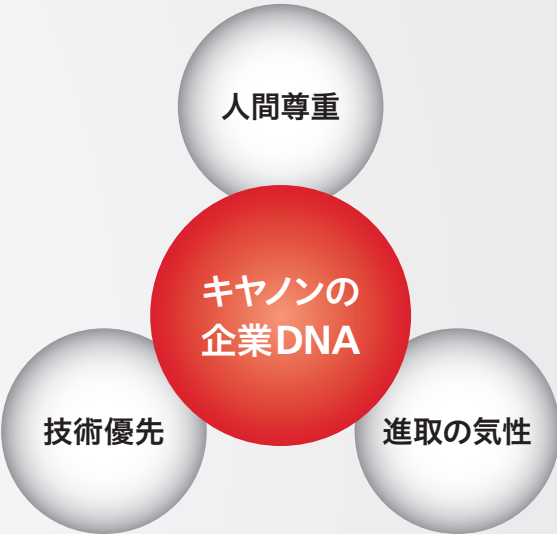
「世界の繁栄と人類の幸福のために貢献していくこと」をめざし

共生の実現に向けて努力を続けます。



キヤノンの企業DNA

歴史を刻み、発展できた背景には、脈々と受け継がれるキヤノンの企業DNA「人間尊重」「技術優先」「進取の気性」があります。ベンチャー企業として始まった進取の気性と、技術による差別化をめざす姿勢は、深く浸透し、つねにキヤノンは社会に新しい提案をしてきました。それを支えてきたのが実力主義や健康第一主義などの人間尊重の姿勢です。今後100年、200年と発展し続けるために、キヤノンはこの企業DNAを次の世代にしっかりと継承していきます。



三自の精神

キヤノンの行動指針の原点。それが、創業期から受け継がれる「自発・自治・自覚」の「三自の精神」です。企業DNAを伝承しながら、真のグローバルエクセレントカンパニーをめざすキヤノンにとって、いまも最も重要な指針となっています。

- 〔自発〕 何事にも自ら進んで積極的に行う
- 〔自治〕 自分自身を管理する
- 〔自覚〕 自分が置かれている立場・役割・状況をよく認識する

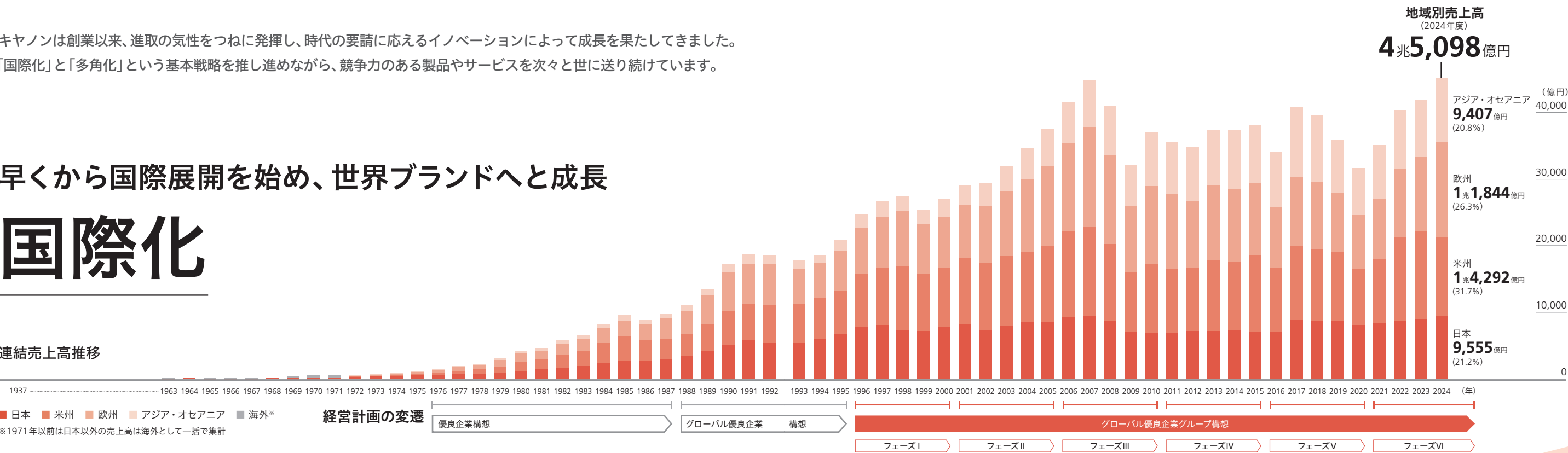
キヤノンの歩み

キヤノンは創業以来、進取の気性をつねに発揮し、時代の要請に応えるイノベーションによって成長を果たしてきました。「国際化」と「多角化」という基本戦略を推し進めながら、競争力のある製品やサービスを次々と世に送り続けています。

早くから国際展開を始め、世界ブランドへと成長

国際化

連結売上高推移



新事業創出による事業ポートフォリオの転換を促進

多角化

